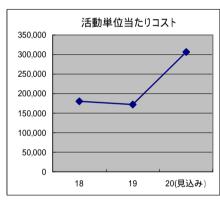
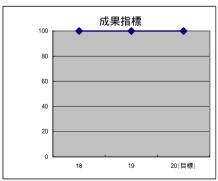
平成 20 年度 事務事業評価シート(平成 19 年度実施事業)

整理番号 市協13

事務事業名						1 一般 会計					
		市日	尼活動環境整備事業	3	会計	2 総務費					
総	± ナ づ ノ เว			9		1 総務管理費					
総合基	まちづくり の目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち	¥	⁷ ├──	16 市民協働費					
基本	施策(節)	4	 市民協働と地域コミュニティ	 [□]	事業						
本計画		1				111111111111111111111111111111111111111					
_		, ,	コミュニティの形成促進		作成部署	市民人権部市民協働ふれあい課					
関	連する計画等				連絡先	072 958 1111 内線 1070					
事対象(誰を・何を)											
業 の	地域環境の清	據	・美観の維持を図るため、神社仏閣に対し	て、	補助金の	の交付					
目	意図(どう)	り	状態にしたいのか)								
的	地域環境の約	辪									
事業の内容	美 D 内										
7	根拠法令等										
事	業開始時期		昭和 ☑ 平成 3 年 月開始 □	明確	にはわか	Nらない 終了年度 平成 年度					
	業開始時から 伏況変化										
市民や議会の要望											
	実施手法		直営 一部委託 全部委託	Ŀ	7 補助金	金・助成金 □ その他()					
	委託先		外郭団体委託 名称 民間委託	TANK T	委託内容						
	☒		分 18年度 19年度		20年周	活動単位当たりコスト					

		X	分		18年度		19年	度	20年度		
		兦			(実績)		(実績)		(見込み)		
事	業費	[1]		(千円)			440	440			
人作	牛費	[2]		420		420	1,092				
	마하	正規職員			0.05	人	0.05	人	0.13	人	
	職員	再任用職員			0.00	人	0.00	人	0.00	人	
	貝数	嘱託職員			0.00	人	0.00	人	0.00	人	
	女人	臨時職員			0.00	人	0.00	人	0.00	人	
	超	過勤務(参考)		(時間)	0.00	時間	0.00	時間	0.00	時間	
総	事業	養養(【1】+	[2])[A]	(千円)	900		860		1,532		
	財源内訳	国費		(千円)							
		府費		(千円)							
		市債		(千円)							
		その他 (手	数料・使用料等)	(千円)							
		一般財源		(千円)		900		860	1,	532	
活動	勆拃	6標(事業の活	動実績)【B】	単位	18年度	ĦZ.	19年	度	20年度(目]標)	
	助			件		5		5		5	
活重	加単	位当たりコスト	~(【A】/【B】)	180,000) 円	172,00	0 円	306,400) 円	
市目	₹ 1	人当たりコスト	~(【A】/人口))	7	7 円		<mark>7</mark> 円	13	3 円	





	<u>_</u>	指標名	指標設定の考え方		平成18年度	平成199	平成20年度	
	事 業 目 的	適正補助率(%)	補助が適切にできている	目標	100	100	達成率(%)	100
成果	の達	(式)	か		100	100 100.0%		
指標				目標			達成率(%)	
	指標)	[式)		実績				

市			市の関与が必要な理由										評価		
	の		1 2 3 4 5 6							7 8		9	必要性	分析・評価の説明	
	関与		法令上		最低限	市民の	社会的	民間だ けでは 負担しき れない	民間#			寺 第三者		利用者の利便性が保たれ	
	の		の義務	が不特 定多数	の生活 水準を	不安を 解消			けでは供給る		色等を も内タ			ている。	
	必			ÆΣ XX	確保	M+713	対象		足		いり へ発信		有		
	必 要 性														
H									_	_					
	視	点	分析のためのチェック点					はい	いいえ	該当なし		分析·	評価の説明		
			市民ニース	ズが高い					V					はもとより、制度自体を	
			市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない							✓		見直す必要	要がある。		
			社会情勢の変化に対応している							\checkmark					
	妥当	当性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない							V					
			国・府の事	業と重複し	ていない					П	П	1			
			事業を休」	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい						$\overline{\Box}$		ı			
			緊急性が	認められる					1=	<u>_</u>		•			
			単位コストが適切である(経年、他市比較など)						V					美観の維持が主目的であ	
			受益者負担の割合は適当である											ではなく環境衛生面から	
			人員を削減する余地がない									の取組み	が必要でな	かる。	
分析) : 効率	枢性	事業費を削減する余地がない						V						
17	7.73		簡略化できる方法や手段がない						V						
흼			市の他事業と重複していない												
佂]		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない						,		☑				
			上位の施策(目的)が明確である						V					更性が保たれており、有	
	有効′	动性	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である						V			効である。	•		
	137	V3 1⊥	成果を向上させる余地がない						V						
			市民の視点にたってサービスが提供されている						V						
			事業の企画、立案に市民が参加している						$\perp \square$	$\underline{\underline{\Box}}$	$\overline{\mathbf{Q}}$				
	協働	動性	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている						뷰	믄		·			
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加 控力が得られている						뷰	브		ı			
			2	事業の実施に市民の参加、協力が得られている						<u> </u>		1 0 0 0/-	商担かなん	付を行っている。	
	李口		成果指標の目標値は適正である							屵	片	1 0 0 70)	週切る又		
)进门		成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している							+	님				
H				O 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	カロエロで	V. 0				브	Ш				
		総合	:評価												
			拡大·	充実 ✓	現状維	持	方法改善	月日	営化⋅∣	天間	委託	□ 縮力	\	壓止·休止 □ 完了	
	担当	評価	の理由												
	当部局	利用	者に対	して、美	養観、清	潔を保つ)ために	交付でき	ている	るた	め。				
	評	A //:	1 1 1	· / Up / p	1 044	4 4	6 	1 % /							
	価	今後	に回けて	(取組万	計、具体的	りな改善さ	以車案なの	=)							
		金額	種や交付	内容にこ	いて検	討する。									